

Information

2010年(平成22年)2月10日

「YMFS スポーツチャレンジ体験・研究助成」 「YMFS 国際スポーツ奨学金」 平成22年度(第4期生)助成対象者および奨学生決定のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports:以下YMFS)では、このほど、平成22年度(第4期生)の「YMFS スポーツチャレンジ体験助成」対象者8件、「YMFS スポーツチャレンジ研究助成」対象者11件、および「YMFS 国際スポーツ奨学金」対象者3名を決定しましたので、お知らせいたします。

平成22年度(第4期生)助成対象者・助成実績

| | 応募数 | 助成対象者および奨学生 | 助成実績(計) |
|--------------------|-----|-------------|------------|
| YMFS スポーツチャレンジ体験助成 | 46件 | 8件 | 640万円 |
| YMFS スポーツチャレンジ研究助成 | 84件 | 11件 | 1305万円 |
| YMFS 国際スポーツ奨学金 | 20名 | 3名 | 360万円(1年分) |
| | | 合計 | 2305万円 |

なお、平成22年度(第4期生)の助成金贈呈式は、YMFS スポーツチャレンジウィーク最終日となる3月26日(金)にヤマハリゾートつま恋(静岡県掛川市満水2000)にて開催いたします。

※ YMFS スポーツチャレンジウィークの詳細内容につきましては、後日お知らせいたします。

※ 対象者の氏名については2枚目以降をご覧ください。

※ 平成22年度の活動期間は、平成22年4月から平成23年3月までの活動となります。

【「YMFS スポーツチャレンジ体験・研究助成」 「YMFS 国際スポーツ奨学金」の概要】

「YMFS スポーツチャレンジ体験・研究助成」は、①「世界に翔ばたく逞しい人材の育成」②「国民のチャレンジスピリットの喚起」③「各種スポーツの普及・振興」を目指した公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団の助成金交付制度です。

本制度には、自己のキャリアアップやスキルアップを目的とした各種体験活動に対して助成金を交付する「YMFS スポーツチャレンジ体験助成」とスポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付する「YMFS スポーツチャレンジ研究助成」の2部門があり、1件あたりの助成金は個人100万円、グループ・団体200万円を上限として、交付期間は1年間です。

一方「YMFS 国際スポーツ奨学金」は、スポーツの普及・振興にかかわる学問・研究に取り組む国内外の留学生を対象とした奨学金制度で、奨学金は大学生、大学院生共に10万円(月額)とし、給与期間は1年または2年間です。

■この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください■

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS) : 事務局 (河邊)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel : 0538-32-9827 Fax : 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

平成22年度（第4期生） YMFS スポーツチャレンジ体験助成対象者一覧

| YMFSスポーツチャレンジ体験助成 | | | | |
|--------------------------------|---------------------|--|--|-----|
| 氏名（年齢） ・団体名 | 競技種目/他 | 体験テーマ | 所属 | 出身地 |
| あらや 新谷 誠 (16) | アイスホッケー ／選手 | アイスホッケーでロシア及び北米プロリーグへの挑戦、2014年ソチ冬季五輪出場を目指す | ロシア・モスクワ公立 第1076番校 | 北海道 |
| くめた 糸田 幸仁 (43) 第3期生対象者 | 水泳（障がい者スポーツ） ／選手 | 重度障がい者が水泳でロンドンパラリンピックを目指す | 会社員 | 静岡県 |
| こじま 小島 智子 (31) 第1、3期生対象者 | チアリーディング ／選手 | NFLチアリーダー8年連続合格 | NFL Tampa Bay Buccaneers Cheerleaders | 大阪府 |
| そえじま 副島 正純 (39) | 陸上（障がい者スポーツ） ／選手 | ロンドンパラリンピックへの挑戦 ～IPC世界陸上選手権大会出場とメダルの獲得～ | 会社員 | 福岡県 |
| たかしま 高嶋 遥 (22) | アイスホッケー/ 選手 | 2014年ソチオリンピックを目指して～自身3度目となるオリンピックへの挑戦～ | 早稲田大学 4年 | 北海道 |
| もりた 守田 泰弘 (22) | レスリング／選手 | 世界選手権への挑戦、そしてロンドンオリンピックへ！ | 日本体育大学 4年 | 福岡県 |
| やました 山下 はるな (19) | トランポリン／選手 | トランポリン世界選手権・ロンドンオリンピック出場に向けた取り組み | 静岡産業大学 1年 | 静岡県 |
| よしかわ 好川 菜々 (31) 第3期生対象者 | ボクシング／選手 | ロンドンオリンピックに向けて | 大阪教育大学職員 | 大阪府 |

(平成22年2月10日現在)

平成22年度（第4期生）YMFS スポーツチャレンジ研究助成対象者一覧

| YMFS スポーツチャレンジ研究助成 | | |
|---|--|-----------------------------------|
| 氏名・団体名（代表者名） | 研究テーマ | 所属 |
| いながき ともひこ 稲垣 智彦 | ドイツにおけるスポーツクラブの社会的機能性 | 北海道大学大学院 国際広報メディア・ 観光学院 博士課程2年 |
| いなば ゆき 稲葉 優希 | 方向転換走の素早さに関するバイオメカニクス研究 | 東京大学大学院 総合文化研究科 身体運動科学研究室 修士2年 |
| きむら てつや 木村 哲也 | 持久的運動時の心拍リズムと筋収縮リズムの 同期化現象に関する生理学的意義の解明 | 京都大学大学院 人間・環境学研究科 技術補佐員 |
| くぼ けいたろう 久保 啓太郎 | 脱トレーニングが腱特性および跳躍能に及ぼす影響 | 東京大学大学院 総合文化研究科 助教 |
| しまもと こうへい 島本 好平 | アスリート用ライフスキル評価尺度の開発と その影響要因の横断的・縦断的検討 | 東京工業大学大学院 社会理工学研究科 特別研究員 |
| 首都大学東京 人間健康科学研究科 行動生理学研究室 (にしじま たけし) (西島 壮) | 日常生活の不活動化はうつ病発症リスクを高めるか？ | 首都大学東京 人間健康科学研究科 助教 |
| 電気通信大学 量子・物質工学科 生命情報工学講座 (かのう ゆたか) (狩野 豊) | バイオイメーキングによる筋代謝産物の可視化 | 電気通信大学 量子・物質工学科 生命情報工学講座 准教授 |
| はしもと たけし 橋本 健志 | 脂肪細胞を鍛える因子の探索 | 兵庫県立大学大学院 生命理学研究科 細胞機能学分野 特任助教 |
| ふじた さとし 藤田 聡 他2名 | 骨格筋肥大に関わるシグナル因子の特定 —運動・栄養のテーラーメイド・プログラム作成への 挑戦 | 立命館大学 経済学部 准教授 |
| みうら あきと 三浦 哲都 他1名 | ストリートダンサーの優れたパフォーマンスを支える リズム感の解明 | 東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程1年 |
| 早稲田大学 スポーツ科学学術院 (ごとう かずしげ) (後藤 一成) | 高脂肪食摂取と睡眠時間の短縮がメタボリックシンド ローム関連因子に及ぼす影響 | 早稲田大学 スポーツ科学学術院 助教 |

(平成22年2月10日現在)

平成22年度（第4期生） YMFS 国際スポーツ奨学金対象者一覧

| YMFS 国際スポーツ奨学金 | | | |
|------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 海外留学生奨学金 | | | |
| 氏名（年齢） | 留学国/留学先校 | 留学テーマ | 所属大学 |
| いけだ えりか (23) 池田 恵里香 | カナダ/ University of Alberta | 子どものスポーツ活動による体力向上と心の育成に関する研究 | 順天堂大学 4年 |
| 外国人留学生奨学金 | | | |
| 氏名（年齢） | 国籍 | 留学テーマ | 所属大学 |
| きむ うんぴ (24) 金 ウンピ | 韓国 | 音楽を用いた身体活動の心理的・生理的効果と運動の継続性に関する研究 | 筑波大学大学院 博士前期課程入学予定 |
| りん しょうりゅう (33) 林 勝龍 | 台湾 | 日本統治下における台湾野球の文化研究 | 早稲田大学大学院 博士後期課程 1年 |

(平成22年2月10日現在)

【 YMFS スポーツチャレンジ助成 申請者全体 】

| | | 体験助成 | 研究助成 |
|-------------|----------|--|---|
| 申請件数 | | 46件 男性29件・女性17件／個人37件・グループ9件 | 84件 男性68件・女性16件／個人50件・グループ34件 |
| 年 代 別 | 10代 | 6件 (13.0%) | 0件 (0%) |
| | 20代 | 22件 (47.8%) | 17件 (20.2%) |
| | 30代 | 9件 (19.6%) | 37件 (44.0%) |
| | 40代 | 8件 (17.4%) | 22件 (26.2%) |
| | 50代 | 1件 (2.2%) | 5件 (6.0%) |
| | 60代 | 0件 (0%) | 3件 (3.6%) |
| 平均年齢 | | 29.2歳 | 37.05歳 |
| その他 属性 | アスリート | 33件 (71.7%) | 教授 7件 (8.3%) |
| | 指導者 | 8件 (17.4%) | 准教授 21件 (25.0%) |
| | 障がい者スポーツ | 3件 (6.5%) | 講師 7件 (8.3%) |
| | その他 | 2件 (4.3%) | 助教 16件 (19.0%) |
| | | | 教諭 2件 (2.4%) |
| | | 大学院生 15件 (17.9%) | |
| | | 団体研究員 5件 (6.0%) | |
| | | その他 11件 (13.1%) | |

【 YMFS スポーツチャレンジ助成 助成対象者（決定者） 】

| | | 体験助成 | 研究助成 |
|-------------|----------|--|--|
| 対象件数 | | 8件 男性 4件・女性 4件／個人 8件・グループ 0件 | 11件 男性 10件・女性 1件／個人 6件・グループ 5件 |
| 年 代 別 | 10代 | 2件 (25.0%) | 0件 (0%) |
| | 20代 | 2件 (25.0%) | 4件 (36.4%) |
| | 30代 | 3件 (37.5%) | 5件 (45.4%) |
| | 40代 | 1件 (12.5%) | 2件 (18.2%) |
| | 50代 | 0件 (0%) | 0件 (0%) |
| 平均年齢 | | 27.6歳 | 32.3歳 |
| その他 属性 | アスリート | 6件 (75.0%) | 教授 0件 (0%) |
| | 障がい者スポーツ | 2件 (25.0%) | 准教授 2件 (18.2%) |
| | | | 助教 4件 (36.4%) |
| | | | 大学院生 3件 (27.3%) |
| | | | 研究員 1件 (9.1%) |
| | | | 他 1件 (9.1%) |
| 助成金額合計 | | 640万円 | 1305万円 |
| 助成金額平均 | | 80万円 | 118.6万円 |

【 YMFS 国際スポーツ奨学金 申請者全体および決定者 】

| | 日本人留学生 | 外国人留学生 |
|----------------|------------------|-------------------|
| 申請数 | 6名 (男性 4名・女性 2名) | 14名 (男性 9名・女性 5名) |
| 奨学生 (決定者) | 1名 (男性 0名・女性 1名) | 2名 (男性 1名・女性 1名) |
| 奨学金 計 (1年間×人数) | 120万円 | 240万円 |